

まちを水害から守る最前線!

ポンプ場 潜入調査!



芳野ポンプ場

- 供用年月 平成28年6月
- 所在地 西枇杷島町芳野三丁目1番地1
- 敷地面積 2,873㎡
- 建築面積 721㎡(延床面積1,866㎡)
- 建物構造 鉄筋コンクリート造(地上3F地下1F)
- 排水能力 毎秒6.22㎡
- 放流先 一級河川 庄内川水系新川



でん だ

傳田選手が行く!

清須の水害対策の“要”に迫る。

大雨が降ると、まちを守るためにひそかに働く「ポンプ場」。普段は入ることのできないその内側に、ウルフドッグス名古屋の傳田亮太選手が潜入!

施設の役割や仕組み、そして清須市の水害対策について調査しました。

ここがすごい!ポンプ場の役割



大雨の時の強い味方

大雨で水路が溢れそうになった時、ポンプで強制的に排水し、住宅地等への浸水を防ぎます。



まちの安全を守る

東海豪雨での経験を踏まえ、24時間体制で施設を監視し、まちの安全・安心を支えています。



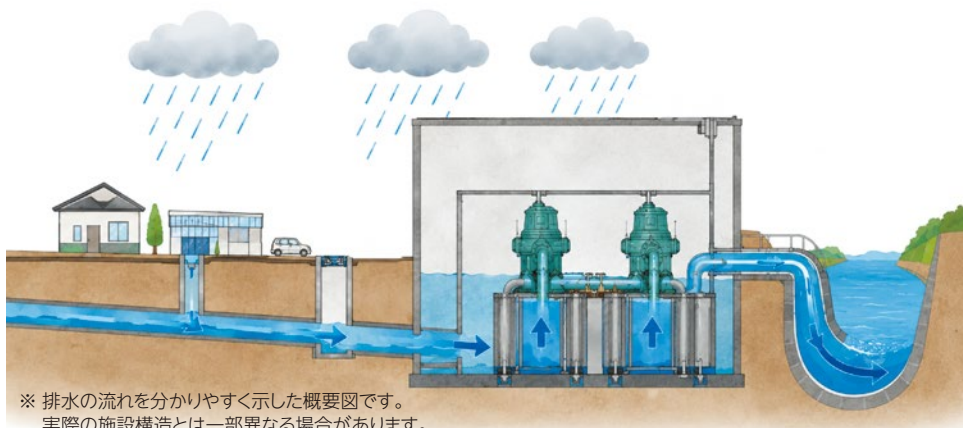
見えないところで活躍

普段は目立たないポンプ場ですが、いざという時に力を発揮する、縁の下の力持ちです。

どうやって排水しているの？

—ポンプ場の仕組みを解説！

大雨が降ると、雨水は下水管や水路に集まります。その水位が高くなると、ポンプ場が稼働し、川へ強制的に排水します。



※ 排水の流れを分かりやすく示した概要図です。
実際の施設構造とは一部異なる場合があります。

①雨水が集まる

雨水は側溝や下水管を通して、ポンプ場に集まります。



水位を監視しながらポンプの運転を自動で制御。複数の強力なポンプが連動し、大量の雨水を素早く排出します。
(1台あたり約3m³/秒の能力!)

②ポンプで汲み上げる

水位が上昇するとポンプが作動し、水を汲み上げます。



③川へ放流する

汲み上げた雨水を川へ放流し、まちの浸水を防ぎます。



汲み上げた雨水を川へ安全に放流。逆流を防ぐ弁も重要な役割を担っています。

市内の主なポンプ場施設

—市内要所に配置し、まちを水害から守っています！

- ①春日第二排水機場
- ②春日排水機場
- ③古城ポンプ場
- ④水場川排水機場
- ⑤助七ポンプ場
- ⑥小場塚ポンプ場
- ⑦芳野ポンプ場
- ⑧豊田川ポンプ場
- ⑨二ツ杵ポンプ場
- ⑩土器野ポンプ場
- ⑪堀江ポンプ場
- ⑫下河原ポンプ場



東海豪雨の記憶

～忘れない、あの日の教訓～

平成12年9月11～12日に発生した東海豪雨では、清須市も甚大な被害を受けました。

床上浸水6,467棟、床下浸水1,676棟（市調べ）にのぼる被害を受け、“水害に強いまちづくり”が急務となりました。



——あの日の経験が、今の備えにつながっています。

- ☑ポンプ場の整備
- ☑雨水管渠の整備
- ☑調整池の整備
- ☑ハザードマップの更新
- ☑防災情報の発信強化 等

清須市は、“水害に強いまちづくり”を進めています！

広報担当 実習生
(6/16～8/7)

WOLFDOGS
NAGOYA

でん だ りょうた
傳田 亮太 選手



見学を終えて…

～傳田選手コメント～

ポンプ場見学で雨水排水の仕組みや設備の重要性を実感しました。市民の安全を支える多くの人の努力とチームワークの大切さに感動し、自分の活動にも活かしていきたいと思いました！